

老健いばらき

第59号

2021.9.1



弘道館 正庁正席の間〈水戸市〉

写真提供：茨城県弘道館事務所

茨城県水戸市にある弘道館です。写真は、正庁正席の間に藩主が臨席をして、正席の間や二の間で行われた学問の試験や対試場で行われた武術の試験をご覧になったところです。床の間には、弘道館の建学精神が示された弘道館記碑の拓本が掲げられています。弘道館は、現在放送中のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の撮影にも使用されました。



弘道館
記碑拓本

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／老健かすみがうら 大場 正二

編集人／プロスペクトガーデンひたちなか
編集 鹿野苑
シニア健康センターしおさい
つくばリハビリテーションセンター
平成園
ウイケア

森田 隆
熊坂 裕吾
児島 強
市原 健一
小柳 賢時
岩瀬 剛

会長 挨拶

一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

会長 大場 正一

令和3年5月の理事会にて、第6代協会会長に任命されました大場正一です。何卒よろしくお願い申し上げます。

前会長、小柳賢時先生におかれましては、これまで16年間にわたり同協会の発展に尽力いただき感謝の言葉も見つかりません。また、引続き理事として協会運営をご指導いただけることになり有難くも心強い限りです。

さて、協会を取り巻く状況に目を向けますと、一昨年末から始まった新型コロナウイルス蔓延と感染対策への取組は1年半を経過しようとしています。私達も自身の行動自粛や業務上の制限などにより心身の負担は平時に比して増加し、辛抱の時間を続けてきました。然しながら、未だコロナ禍の出口をはっきりと見いだせない今、改めて心に到来する想いがあります。老健をはじめとする高齢者施設は、これまで幾多の困難や難局に遭遇してきました。私自身もその度に、自身の目指すところを見失はかねない時がありました。何とか踏ん張ることができたのは、困難を向えた時、周りを見回すと、法人や事業所は違えど一緒に困難を乗り越えようとする業界で働く皆さんのことを思い浮かべ勇気が湧いたことが、大きな要因となっております。今回の新型コロナウイルス蔓延は施設にとつて、感染症対策強化や運営方法改善の必要性を示

したものと成り、同時に、地域の方々から必要不可欠な社会インフラへの認識が高まり、また、地域の高齢者を支える地域包括ケアシステムの中にあつて、その中心に存在することや各機関からの様々な期待の大きさを知る契機になり、真に中間医療として存在し続ける意義が顕在しました。

「コロナ禍の出口」は単に平時に戻すことだけに囚われて良いのでしょうか。膠着した期間に培った感染対策に対応したオペレーションや運用方法、これらに伴った老健施設の機能向上や職員の資質向上への取り組み、はたまた、経営手法等をさらに発展させていくことは我慢の時間を無駄にしないことにもなり、延いては利用者様やご家族にとどまらず、広く社会に、還元出来る取組みとなるものと信じます。

末筆となりましたが、高齢者サービスに関わる全ての方々が、この困難に対応したことを誇りとプライドに換えて、その胸で灯し続けていただくことをお願いしましてご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

副会長 森田 隆

私は、2015年より理事の仕事をしていただき、この度、広報担当の副会長を仰せつかりました「プロスペクトガーデンひたちなか」理事長の森田です。

嘗て仕事をしていたアメリカのイェール大学には「大病院で高度医療を受けた患者さんを効率よく仕事や在宅の日常に復帰

させるリハビリ施設」として「プロスペクトガーデン（将来を見通す庭）」と名づけられた研究施設がありました。大学を辞して、平成16年に介護老人保健施設「プロスペクトガーデンひたちなか」を設立し、イェール大学の「プロスペクトガーデン」構想を実現すべく、病院を退院しても在宅に帰れない高齢の患者さんにリハビリを行う在宅に帰してあげようと、17年間職員と一緒に頑張ってきました。

介護は生活そのものですから、生活を充実させるには、1. 身体機能の改善（体のリハビリ）、2. 認知機能の改善（頭のリハビリ）、3. 生活の潤いの充実（心のリハビリ）が必要で、従って介護老人保健施設は単なるリハビリ施設というより「在宅生活復帰科」とでもいうような医療施設であるべきと考えています。

昨年12月施設は「コロナ感染症のクラスター」になり、半数以上の入所者が「コロナ専門病院」に入院しました。肺炎症状が強かった2名は入院先の病院で亡くなりました。PCR陽性というだけで入院した1名は入院中脳梗塞を起こし亡くなりました。コロナが治癒（症状が安定して2週間以上経過）後も、一般病棟には入院できなかつたため、亡くなった方を除いて殆どの方は2月中旬に施設に戻りましたが、施設に戻った方は皆さんADLが著明に低下していました。

戻った入所者様は皆さん「帰ってきて良かった、ありがとう。」と涙をこぼされていました。COVID-19は2類感染症なのでコロナ病棟への入院は仕方がないと思いますが、PCR陽性というだけでの入院には今も疑問を感じています。

このクラスタの経験を通じて、介護老人保健施設の素晴らしさ、介護老人保健施設

設の本来の役割を再認識しました。この度、広報委員長を兼任させていただきましたので、介護老人保健施設の役割、その素晴らしさを一般にも広く広報して、茨城県介護老人保健施設協会の発展に寄与したいと考えています。宜しくお願い致します。

ご挨拶

一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

理事 小柳 賢時

茨城県介護老人保健施設協会は、この度、5月に行われました、総会/理事会で、新たに大場先生が会長に選出されました。新会長のもと、老健は施設の持つ力を発揮し、地域包括ケアシステムを推進する中心的な役割を果たしていくこととなります。大場会長は、長く茨老健の副会長や県医師会の常務理事として活躍されており、会員の皆様に協力して茨城県の少子高齢社会の対応が進められますよう、地域貢献していきます。

私は、茨老健の会長を長山会長の後を継ぎ、16年間にわたり務めさせて頂きました。在職中には様々な会議に出席し、老健の役割を社会全体の中での立ち位置を考え事業計画をしていくと、一つの方向からだけ見てもしまいがちだと感じました。いばらき高齢者プラン21推進委員会を長く務め、数回にわたる計画策定に関わり、超高齢化社会における福祉・介護事業・医療介護連携の計画の時もそう感じたところです。この計画が達成出来ることを期待しております。東日本大震災の後、被害を受けた施設よ

り避難や移送について相談があった時、どう対応したらよいか混乱したこと、群馬県老健協会からいち早く受け入れの表明があったこと等も思い出します。その後、現実的には不安が多いですが、原発事故を想定した避難について、協定が結ばれました。

新型コロナウイルス感染症蔓延以前は、茨健の研究発表会も発展し、県単位では全国的にも大きな大会でしたが、この2年中止となっております。全老健の全国大会も中止が続いています。各施設が交流する場でもあり、早く感染対策が進み、また顔を合わせて議論できる日を楽しみにしています。

新たな感染や災害、継続的な人材不足と現場は緊張状態が続き、経営的にも厳しい状態となりますが、それぞれの職種が協同して地域における役割を果たしていきましょ。

関東申信越ブロック推薦の全老健の理事はあと1年任期があり、微力ながらも務めてまいります。

最後になりましたが、長きにわたり支えて下さった皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

就任挨拶

一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

理事 岩瀬 剛

はじめまして、美浦中央病院の岩瀬剛と申します。よろしくお願ひ申し上げます。

大場正二先生を中心といたします介護老人保健施設協会に、少しでもお役に立て

ばと思ひ、入会させていただきました。

出身は、大谷翔平野球選手(大リーグで大活躍中)と同じで若手県です。大谷選手がホームランを打つたびに感動し、ビデオで何度も見直し、大谷選手が若手県のヒーローであると確信しております。

日本のチベットと言われる若手県の大自然の中で、幼少期を過ごしました。高校より上京し、勉学に励み、医学部を卒業し、医師となりました。

稲敷台地にて病院を開業し39年の月日が経ちました。現在、美浦中央病院(186ベッド)と特別養護老人ホーム6カ所(490ベッド)、そして介護老人保健施設5カ所(480ベッド)を運営させていただいております。トータル1126ベッドでございます。

私たちグループの目指すビジョンは次の5つでございます。

- ① 医療と介護を通して、人々に奉仕し幸福を提供する
- ② 私たちは public servant (公的奉仕者) である
- ③ 職員の皆さんの生活を守る
- ④ Innovation to the future (産業の芽を深く常に考える)
- ⑤ 茨城県東南部のユニコーンを目指す

これらを実現できるよう Passion (熱意)、Honesty always (常に正直)、Trust (信頼)、Smile (スマイル)、Calmness (平常心)、Humbleness (謙虚) を大切にしながら、努力いたします。

これからまことによろしくお願ひ申し上げます。短くはございますが、私の就任の挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

茨城県保健福祉部長寿福祉推進課

課長 磯崎 聡

今年の4月に長寿福祉推進課長に就任いたしました磯崎聡でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に加えて、今般の新型コロナウイルス感染症対策に多大なご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

我が国では、人口減少と少子高齢化が急速に進行し、本県におきましても、今年4月1日現在の高齢化率は30.2%という状況にあり、今後、国民の医療や介護のニーズがさらに増加することが見込まれております。

このため、県といたしましては、令和3年度からの3年間を計画期間とする「第8期いばらき高齢者プラン21」を今年3月に策定し、「在宅医療・介護の支援」「地域包括ケアシステムの構築」「認知症対策の強化」「高齢者の能力活用と就労支援」「人生百年時代を見据えた健康づくり」の5つを施策の柱と位置づけ、高齢者一人ひとりが健康でいきいきと活躍できる社会を目指すとともに、「健康長寿日本」の実現を目指してまいります。

介護老人保健施設の皆様におかれましては、今後とも、地域の中で病院と在宅をつなぐ重要な施設として、「地域包括ケアシステム」の一翼を担っていただきますようお願い申し上げます。

ようお願い申し上げます。

一方、令和3年の介護報酬改定においては、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」が第一の項目として掲げられております。

各施設におかれましては、引き続き、ウイルスを「持ち込まない」「拡げない」対策を徹底することに加え、感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築いただきますようお願いいたします。

結びに、今後とも本県の高齢者保健福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。貴協会の益々のご発展をご祈念いたしまして、挨拶いたします。

職種別専門委員会

委員長挨拶

リハビリテーション専門委員会

みがわ

笠原 鉄聡

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で年3回予定しておりました研修会は全て中止となってしまい、会員の皆様には大変ご迷惑をかけてしまったことを深くお詫び申し上げます。

今年度は第1回研修会を9月に、第2回研修会を11月にそれぞれオンラインでの開催を予定しております。オンラインでは、ネット環境が整ってさえいればどこでも研修を受

けられ、緊急事態宣言中であっても自己研鑽が可能。是非とも、多くの会員施設様のご参加を心よりお待ちしております。

第3回研修会につきましては、感染拡大状況を踏まえながら、対面での研修会が開催出来るよう準備を進めてまいります。

最後になりますが、私がリハ専門委員の委員長という大役を仰せつかりましてから今年度で3期6年目となりました。今年度は委員会事業を大所高所から見ながら、スムーズに次の世代にバトンを渡せるような舵取りを行っていきたく思っております。今後とも当委員会の運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

事務専門委員会

平成園

竹村 翼

前年度に続き、事務専門委員会の委員長を務めさせて頂きます。平成園の竹村翼です。皆様のご協力を頂き、精一杯務めさせて頂きますので、宜しくお願い致します。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、全委員会の研修会が中止となってしまうまいりました。今年度は当委員会では、他委員会に先立ちまして、6月18日に第1回目の研修会をZOOMを用いたオンライン研修にて開催致しました。講師には全老健 管理運営委員会・安全推進部会・部会長の山野雅弘先生をお招きし、介護報酬改定に関する講演を頂き、多数の方に参加頂きました。二回目の研修会につきましても、企画を行ってまいりますので、各施設の皆様におかれましては、日々の業務に加え、感染症対策に対応を迫られている事と思っております。是非研修会に参加頂ければと思います。

今後とも、当委員会の運営にご理解・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

支援相談員専門委員会

ぎぎよりの里

渡辺 陽子

昨年度に引き続き、支援相談員専門委員会の委員長を務めさせて頂きます。ぎぎよりの里の渡辺陽子です。委員会の皆様へ支えて頂きながら、精一杯務めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。昨年度の研修会は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、中止となりました。今年度は、ワクチン接種を済ませている施設も多いことから、感染対策を十分にとつてのグループワークも検討しましたが、変異株など新たな感染拡大が懸念されることもあり断念致しました。このような状況の中、介護報酬改定が行われ、LIFEによるデータ活用など今までにない形となっており、苦慮されている方も多いことと思っております。今年度は、10月22日LIFE関連加算とデータの活用等について、Zoomでの研修会を予定しておりますのでよろしく申し上げます。

栄養専門委員会

ぎぎよりの里

須藤 頼子

日頃より、栄養専門委員会の運営にご協力いただき、感謝申し上げます。今年度は介護報酬の改定もあり、栄養士としての活躍の場が大きく広がりました。一方で、加算の算定等に不安や、疑問を抱

えている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。昨年はコロナ感染症対策という事もあり、研修や情報交換といった場を設けることが出来ませんでした。現在、ワクチン接種の完了やリモートでの研修など、感染症対策を行ったうえでの交流の機会も増えております。日程は未定ではありますが、それぞれの交流が図れ、不安や疑問の解決が出来る機会を設けられるよう取り組んでいきたいと思っております。今後皆様のご協力を引き続きよろしくお願い致します。

県知事からの表彰

今般、大井川和彦茨城県知事より、県内老健施設の新型コロナウイルス感染症対策への取り組みを評価いただき、表彰されましたので御報告致します。



**令和3年度
一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会
事業計画**

4月	・予定なし
5月	・定時社員総会及び定例理事会 (5/27開催)
6月	・事務専門委員会リモート研修会 (6/18開催)
7月	・第1回広報委員会「老健いばらき」担当者会議7/9開催
8月	・予定なし
9月	・「老健いばらき59号」9/1発行 ・リハビリ専門委員会リモート研修会(9/10)
10月	・学術委員会担当者懇談会 ・支援相談員専門委員会リモート研修会(10/22)
11月	・看護介護専門委員会リモート研修会(10/21開催予定) ・第2回広報委員会「老健いばらき」担当者会議(10/8)
12月	・第2回定例理事会(11/25) ・栄養専門委員会、茨城県栄養士会共催リモート研修会(開催起案中 時期は変更あり) ・リハビリ専門委員会研修会(開催予定)
1月	・事務専門委員会研修会(開催予定)
2月	・「老健いばらき60号」2/1発行 ・研究発表会(開催中止) ・協会功労者、永年勤続者表彰 ・職種別専門委員会全体会議(開催予定)
3月	・第3回定例理事会 ・リハビリ専門委員会研修会(開催予定)

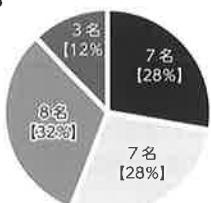
令和3年6月22日 第1回 事務専門委員会ZOOM研修 アンケート集計結果

出席者 31 施設中、アンケート回収数 25 施設

研修評価

(1) 今回の研修会はいかがでしたか？

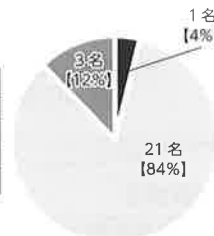
	人数	割合
大変満足	7	28%
やや満足	7	28%
ふつう	8	32%
やや不満	3	12%
合計	25	100%



■ 大変満足 ■ やや満足
■ ふつう ■ やや不満

(2) 時間設定はいかがでしたか？

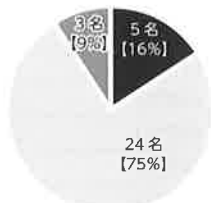
	人数	割合
短い	1	4%
適当	21	84%
長い	3	12%
合計	25	100%



■ 短い ■ 適当 ■ 長い

(3) 資料はいかがでしたか？

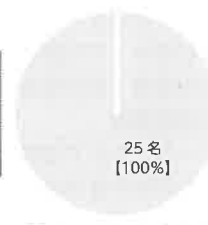
	人数	割合
大変分かりやすい	5	16%
分かりやすい	24	75%
あまり分からない	3	9%
分からない	0	0%
合計	25	100%



■ 大変分かりやすい ■ 分かりやすい
■ あまり分からない ■ 分からない

(4) 進行はいかがでしたか？

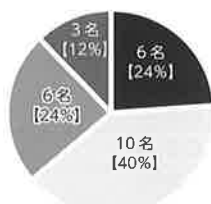
	人数	割合
早い	0	0%
適当	25	100%
遅い	0	0%
合計	25	100%



■ 早い ■ 適当 ■ 遅い

(5) 講義内容について

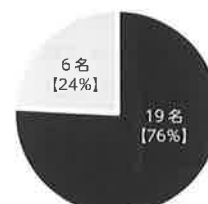
	人数	割合
大変参考になった	6	24%
参考になった	10	40%
ほぼ参考になった	6	24%
少し物足りなかった	3	12%
合計	25	100%



■ 大変参考になった ■ 参考になった
■ ほぼ参考になった ■ 少し物足りなかった

(6) リモート研修について

	人数	割合
今後もリモート	19	76%
今後はリモートと集合研修を併用	6	24%
集合研修に切り替え	0	0%
合計	25	100%



■ 今後もリモート
■ 今後はリモートと集合研修を併用
■ 集合研修に切り替え

(7) その他、ご意見ご要望等

- ・接続PCが1台だったことで、プロジェクターを投影し、10名ほどで参加したが、集合研修と変わらない緊張感で受講できた。
- ・接続台数を制限せずに各自で参加できたら、便利だと思う。
- ・テスト接続や、当日のサポートもあり、安心して受講できた。
- ・どのくらいの人数が参加しているのか知りたい。(研修中に。)
- ・タイムリーな題材で良かった。定期的に情報共有、疑問解消ができると良い。
- ・事前資料を頂けるとありがたい。
- ・LIFEの情報提出の具体的な話をしてほしかった。例えば、同月に入退所を繰り返した時の情報提出など。入所後入院、その後また入所・・・など。
- ・とても大きな学びと貴重な情報を得ることができた。ありがとうございました。
- ・今日の制度改革は、3年の猶予期間があるものや、LIFEもあり、バタバタしている状況。色々と意見交換できる機会がほしい。
- ・リモート研修でネットワークが不安定になることが多く、内容をよく聞くことができなかつたため、要点等をまとめて頂けるとありがたい。
- ・当施設では、まだLIFEへの取り組みが完全ではないので、タブレット等の入力をどのような状況で行うか、試行錯誤しているところ。資料等を読んで、加算ごとにLIFEに必要な情報は理解しているものの、それを職員(リーダー)に機械の操作の段階で、まだ共有できていない状態なので、今回の研修で、他はすごく進んでいることに焦りを感じた。施設内の研修をできる限り多く時間がとれるように、まずそこから進めていきたい。
- ・音量が安定してなかった。
- ・LIFE等、こうすれば加算がとれる等、具体的な事が知りたかった。

サービス類型および各種加算に関するアンケート調査結果

- ★調査対象 ⇒茨城県介護老人保健施設協会会員 105 施設（令和 3 年 7 月 26 日現在）
⇒令和 3 年 7 月 26 日現在にもとづいて調査
- ★回収総数 ⇒90 施設（回収率 85.7%）

施設類型分布 【超強化型 12/90、強化型 6/90、加算型 29/90、基本型 37/90、その他型 6/90】

※県内の茨老健会員及び非会員全体での施設類型分布状況
【超強化型 10.8%、強化型 3.8%、加算型 36.4%、基本型 40.3%、その他型 8.7%】

加算項目	加算取得状況	取得施設数および取得率 (%) ※回答済数は 90 施設	LIFE	
			データ提出済	データ未提出
夜勤職員配置加算		67 (74%)		
短期集中リハビリテーション実施加算		85 (94%)		
認知症短期集中リハビリテーション加算		42 (46%)		
認知症ケア加算		23 (25%)		
若年性認知症利用者受入加算		16 (17%)		
在宅復帰・在宅療養支援機能加算 (I)		33 (36%)		
在宅復帰・在宅療養支援機能加算 (II)		14 (15%)		
外泊時費用		40 (44%)		
ターミナルケア加算		57 (63%)		
再入所時栄養連携加算		11 (12%)		
入所前後訪問指導加算 (I)		49 (54%)		
入所前後訪問指導加算 (II)		30 (33%)		
試行的退所時指導加算		15 (16%)		
退所時情報提供加算		68 (75%)		
入退所前連携加算 (I)		38 (42%)		
入退所前連携加算 (II)		42 (46%)		
訪問看護指示加算		8 (8%)		
栄養マネジメント強化加算		24 (26%)	13 (14%)	11 (12%)
経口移行加算 (I)		21 (23%)		
経口移行加算 (II)		4 (4%)		
経口維持加算 (I)		41 (45%)		
経口維持加算 (II)		26 (28%)		
口腔衛生管理加算 (I)		11 (12%)		
口腔衛生管理加算 (II)		14 (15%)	7 (7%)	7 (7%)
療養食加算		84 (93%)		
かかりつけ医連携薬剤調整加算 (I)		3 (3%)		
かかりつけ医連携薬剤調整加算 (II)		3 (3%)	2 (2%)	1 (1%)
かかりつけ医連携薬剤調整加算 (III)		1 (1%)	1 (1%)	0 (0%)
緊急時治療管理		13 (14%)		
特定治療		1 (1%)		
所定疾患施設療養費 (I)		30 (33%)		
所定疾患施設療養費 (II)		23 (25%)		
認知症専門ケア加算 (I)		1 (1%)		
認知症専門ケア加算 (II)		0 (0%)		
リハビリテーションマネジメント計画提出料加算		37 (41%)	24 (26%)	13 (14%)
褥瘡マネジメント加算 (I)		33 (36%)	22 (24%)	11 (12%)
褥瘡マネジメント加算 (II)		16 (17%)	11 (12%)	5 (5%)
褥瘡マネジメント加算 (III)		5 (5%)		
排せつ支援加算 (I)		35 (38%)	19 (21%)	16 (17%)
排せつ支援加算 (II)		12 (13%)	7 (7%)	5 (5%)
排せつ支援加算 (III)		8 (8%)	4 (4%)	4 (4%)
排せつ支援加算 (IV)		10 (11%)		
自立支援推進加算		16 (17%)	14 (15%)	2 (2%)
科学的介護推進体制加算 (I)		26 (28%)	18 (20%)	8 (8%)
科学的介護推進体制加算 (II)		33 (36%)	20 (22%)	13 (14%)
安全対策体制加算		55 (61%)		

通所リハビリテーション

加算項目	加算取得状況	取得施設数および取得率 (%) ※回答済数は 90 施設	LIFE	
			データ提出済	データ未提出
入浴介助加算 (I)		79 (87%)		
入浴介助加算 (II)		27 (30%)		
リハマネ加算 (A) イ		28 (31%)		
リハマネ加算 (A) □		33 (36%)	18 (20%)	15 (16%)
リハマネ加算 (B) イ		26 (28%)		
リハマネ加算 (B) □		30 (33%)	21 (23%)	9 (10%)
短期集中個別リハビリテーション実施加算		75 (83%)		
認知症短期集中リハビリテーション実施加算 (I)		13 (14%)		
認知症短期集中リハビリテーション実施加算 (II)		1 (1%)		
生活行為向上リハビリテーション実施加算		9 (10%)		
若年性認知症利用者受入加算		13 (14%)		
栄養アセスメント加算		19 (21%)	8 (8%)	11 (12%)
栄養改善加算		7 (7%)		
口腔・栄養スクリーニング加算 (I)		15 (16%)		
口腔・栄養スクリーニング加算 (II)		9 (10%)		
口腔機能向上加算 (I)		14 (15%)		
口腔機能向上加算 (II)		8 (8%)	5 (5%)	3 (3%)
重症療養加算		21 (23%)		
中重度者ケア体制加算		19 (21%)		
科学的介護推進体制加算		53 (58%)	32 (35%)	21 (23%)
移行支援加算		9 (10%)		

短期入所療養介護 (介護老人保健施設)

夜勤体制加算	63 (70%)		
個別リハビリテーション実施加算	79 (87%)		
認知症ケア加算	21 (23%)		
認知症行動・心理症状緊急対応加算	4 (4%)		
緊急短期入所受入対応加算	33 (36%)		
若年性認知症利用者受入加算	17 (18%)		
重度療養管理加算	27 (30%)		
在宅復帰・在宅療養支援機能加算 (I)	29 (32%)		
在宅復帰・在宅療養支援機能加算 (II)	13 (14%)		
送迎加算 (片道あたり)	74 (82%)		
総合医学管理加算	7 (7%)		
療養食加算	69 (76%)		
認知症専門ケア加算 (I)	0 (0%)		
認知症専門ケア加算 (II)	0 (0%)		
緊急時治療管理	8 (8%)		
特定治療	1 (1%)		

訪問リハビリテーション

リハビリテーションマネジメント加算 (A) イ	5 (5%)		
リハビリテーションマネジメント加算 (A) □	8 (8%)	3 (3%)	5 (5%)
リハビリテーションマネジメント加算 (B) イ	8 (8%)		
リハビリテーションマネジメント加算 (B) □	10 (11%)	4 (4%)	6 (6%)
移行支援加算	9 (10%)		

※ LIFE データ提出済・未提出の数値については、算定中の加算項目に対しての内訳となります。
また、取得率は小数点以下切り捨てにて算出しています。

～地域の方々と共に～

介護老人保健施設 さくらがわ
作業療法士 岩淵 智史

介護老人保健施設さくらがわは、眼前には筑波山が広がり、四季の移ろいを感じることができる豊かな自然に囲まれた平成15年に創設された施設です。

私は、平成18年から作業療法士として臨床現場に携わっています。これまで15年間、医療機関で回復期～維持期までのリハビリを経験し、患者様の早期回復と在宅復帰を目標に、取り組んできました。今回、これまでの医療分野の経験を、少しでも私が生まれ育った地域に貢献し、高齢者に慣れ親しんだ場所で、充実した生活を送ってほしい一心で、介護保険分野に飛び込んできました。

当施設は、「やすらぎと信頼」を理念に掲げています。私は、通所リハビリの担当になり、最初に取り組んだ事は、ご利用者様の送迎に同行し、地域の特性とご利用者様の生

活状況を把握する事でした。そして、生活課題を明確にし、在宅生活に直結したリハビリができるよう実践しました。

なかには重度の認知症や要介護5のご利用者様も通われています。リハビリだけでは、より良いサービスには繋がりません。多職種と連携し、一人一人に寄り添った関わりが、その人らしく生きていく事に繋がっていると感じさせられます。

私は、理念でもある「やすらぎと信頼」を胸に、「できること」を増やし、「やりたいこと」への実現に向け、「今日も一日さくらがわに来てよかった」と思われるよう、寄り添ったサービスを提供していきたいと思います。そして、地域の方と共に歩いていく時間を大切にしていきたいと思います。



最善の「食事」の提供

介護老人保健施設 勝田
管理栄養士 酒井 ひかり

「病気の人の役に立ちたい」そんな気持ちでこの施設に新卒で入職してから7年目を迎えました。周りの様子を伺い、あまり発言ができなかった入職当時とくらべると、今では管理栄養士としての考えを臆することなく発言できていると思っています。

そのような中でも、ご利用者様の中には様々な持病や疾患をお持ちの方もおり、量や形態、制限食等の提供もやむを得ないケースがあります。「高齢になってまで、厳しい制限のある食事をする必要はあるのか」「自分（管理栄養士）がいないほうがおいしい食事をご利用者様は食べられるのではないかと、自問自答する時があります。ご利用者様に「美味しい」「ありがとう」と言われ嬉しい反面、申し訳ない想いもよぎります。それでも管理栄養士として、お一人お一人の心身状況・健康面・



栄養面・嚥下機能・口腔状態の把握と、その方の好みや意向もくみ取る事。さらにはその方の生活歴や在宅復帰後の生活なども踏まえた上で、食の楽しみを忘れず、その時の最善の「食事」を提供する事。食に携わる専門職の役割として、多職種とも連携して、これからも切磋琢磨していきたいと思っています。

この度LIFEという新しいシステムが導入になり、今まで以上に質の高いサービス提供をするため、現場は多くの業務を効率よくこなす能力が求められています。しかし、効率や加算重視の『作業』にならないよう、ご利用者様に寄り添った『サービスの提供』をするとともに、目の前のご利用者様の気持ちを受け止め、今できることをきちんと行い、経験を積むことが必要だと感じています。

施 設 紹 介

当施設ひたちの森ハピネスは、入所定員100名の施設です。平成17年に開設後、併設されている通所リハビリテーションや居宅介護支援事業所と共に、地域で暮らす高齢者が元気に生活できるよう相互協力しながら支援を行っています。また母体である永井ひたちの森病院を中心に、約半世紀にわたり地域に根づいた医療・介護の実践のために法人一丸となって取り組んでいます。

当施設の特徴としては太平洋をのぞむ環境に立地し、朝焼けに染まるきれいな海や、広大に広がる水平線を一望でき、気持ちいい朝日と共に目覚め、穏やかな空間で一日を過ごせるよう努めています。特に5Fの展望風呂の窓一面に広がる景色は、入所・デイ利用の皆様からとても人気があり、ご支持いただいています。

施設の取り組みとしては、地域で暮らす高齢者の方々の方が元気で生活できるように、入所後もできるかぎり在宅復帰できるよう、利用者の心身機能の訓練だけでなく、在宅復帰後の家族の介護に対しての不安に配慮した相談受付や面談など、在宅復帰後の生活のフォローアップを行っています。また、認知症専門棟での認知症ケア、ターミナルケア、胃ろうや経管栄養が必要な方など、多様な疾患に応じて様々なニーズに対応できるよう職員のケアの質の向上に取り組んでおります。より働きやすい職場づくりも目指しており、ベテランや若手、主婦や育児家庭、正社員やパート職員それぞれの立場から意見でき、それぞれの役割や立場が尊重され、既存の仕組みから改善・発展できるよう努めています。

コロナ禍で接触する面会が難しい状況で、利用者やご家族も不安や寂しさを募らせ生活を送られています。現状から改善の見通しが立ち、より良い日常を取り戻せるようお願い、努力していきます。



介護老人保健施設 ひたちの森ハピネス



医療法人 永慈会
介護老人保健施設 ひたちの森ハピネス

茨城県日立市十王町伊師725-1
TEL : 0294-20-6699
FAX : 0294-20-6644

夢彩の舎 (境町)



●頑張れ日本!!!

入所されている利用者様と職員が協力して大きな作品に挑戦しました。時間はかかりましたが、出来上がった時は達成感に満ち溢れました。利用者様は創作活動だけでなく、毎日元気に活動され、リハビリを頑張っています。コロナに負けず頑張れ日本!

温泉リハビリセンター 虹の丘 (大子町)



●南国リゾート

デイケア利用者様の作品です。折紙でハイビスカスとパイナップル。工作でビーチサンダルを作成しました。ビーチサンダルは、使用する折紙を全て違う柄にしたので、オリジナリティー溢れる可愛らしい作品となりました。

みんな

さくら (土浦市)



●ひまわり畑

入所・通所リハビリテーション利用者様が協力して制作した作品です。紙皿に花びらを貼りつけてと簡単な作業ですが、バランスよく貼るにはセンスが必要です。手先が動かさにくい利用者様も頑張っていました。施設の玄関を明るくしてくれています。

のた場

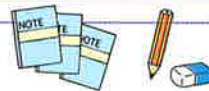
サングリーンやさと (石岡市)



●集団体操

通所リハビリでの集団体操の風景です。各ご利用者様へのレクリエーションや作業活動の提供のみならず、皆様と行う集団体操の時間も設けております。皆様、楽しみながら且つ真剣に取り組まれる姿が大変印象的です。私達もご利用者様に負けず、健康的な毎日を送らねば…です。

— 編集後記 —



近代日本の産業の礎を築いた実業家 渋沢栄一も、明治維新の思想的原動力となった尊王攘夷を広めた水戸学に影響を受けました。大正期に旧水戸藩校の弘道館で講演も行ない、水戸との関りが深いことでも知られております。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局
水戸市千波町1918 (月・火・水・金 9:00~17:00)
TEL. 029-291-5376 FAX. 029-291-6057
E-mail: i-roken@intio.or.jp

老健かすみがうら
行方市若海793-5 (左記以外時間帯対応)
TEL. 0299-55-0122 FAX. 0299-55-1147
E-mail: info@s-kasumigaura.com